

## 序

わが国では、ME化、OA化を中心とした技術革新、人口の高齢化による職業生涯の長期化、経済の国際化などが低経済成長下で進行しており、企業も労働者もこれまでに経験したことがないほどの急激な変化の中におかれている。

このような変化の時代に企業が存立し発展していくためには、競争力を維持・向上させていくことが最大の経営課題であり、人材育成が重要となっている。また、労働者も変化が激しい職場内外の環境のなかで、職業生活を安定させ、地位の向上を図っていくためには、職業生涯を通じて職業能力を開発し向上させていくことが必要になっている。

このようななかで在職労働者の職業能力の開発・向上を目的とした公共訓練施設における向上訓練課程に期待される役割は、今後一層、大きくなっていくことが予想される。

当研究センターでは、こうした時代の要請に応えるため、向上訓練プロジェクト研究にとりくんでいるが、本研究はその一環として行なわれたものである。

本研究では向上訓練に対するニーズを明らかにするために、向上訓練を利用している企業や労働者を対象に職場内外で発生している環境条件の変化の実態やその対応、そして向上訓練への期待などについて調査を行った。

本調査で明らかにされた点は、まず第1に向上訓練を利用している企業のなかには、企業業績がよく、めざましい発展をとげている中小企業が多く含まれていることである。このような中小企業では、技術革新に積極的にとりくむ過程で次々に教育訓練ニーズが発生しており、時代の要請に応えた教育訓練コース設定のための有益な情報源の一つと考えられる。

第2の点は、向上訓練は、企業の提供する教育訓練の機会がほとんどなかったり、企業の提供する教育訓練に満足していない労働者のための自己啓発の場として活用されていることである。

このような企業や労働者からの向上訓練への期待は、職場内外で発生している変化への積極的な適応や挑戦のために、新しい知識、技術、技能を習得する

ことばかりでなく、問題解決能力、やる気などの心構えや態度の習得にも重点がおかれている。

本調査の結果を向上訓練コースの設定や訓練内容、指導方法の検討に役立つようなものにしていくためには、さらに詳細な研究を進めていく必要があるが、とりあえず調査の結果をとりまとめた。本報告書が職業訓練関係者や企業の教育訓練担当者に広く読まれ、忌憚のない御意見、御助言が寄せられることを願っている。

最後に、本調査に御協力いただいた企業の教育訓練担当者、向上訓練受講者、向上訓練担当者の方々に対し厚く御礼申し上げます。

昭和60年3月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏 夫

訓研調査研究資料

第60号

技術革新時代における  
向上訓練への期待

—先端技術関連短期コースを利用している企業や労働者の意識—

発行 1985年5月

発行者 職業訓練研究センター  
所長 多賀谷 敏 夫  
〒229 神奈川県相模原市相原1960  
電話 0427-61-9911(代)

印刷 旭 印 刷  
相模原市上溝4-16-23  
電話 0427-61-3488